

議題（３）西尾市地域公共交通計画の事業進捗について

基本方針① 相互に連携し利用しやすい公共交通ネットワークの形成

事業①－１－１ 鉄道の維持・活性化

- ・公共交通の骨格を形成する名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）の存続に向け、西尾市、蒲郡市、愛知県からなる名鉄西尾・蒲郡線対策協議会にて協議を行います。
 - 対策協議会を開催し、現状の共有と支援金の支払いについて承認
- ・西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団を中心とした利用促進活動を展開するとともに、観光振興の観点から駅及び周辺の魅力アップにより県内外からの誘客を推進します。
 - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する「おでかけきっぷ」を実施
 - ★市制 70 周年を記念した企画列車のイベント（復刻塗装列車の運行、絵画コンクール・電車レストラン）を実施
 - ★名鉄でんしゃまつり、地域 PR ショップに出展し沿線の魅力 PR と誘客推進キャンペーンを実施
 - ★愛知大学地域貢献事業「REGO」との協働による「御駅印帳」の制作配布
 - ☆トンボロリレーマラソンの開催
 - ☆10 人以上の団体や小学生以下の親子を対象とした運賃補助制度により、にしがま線の利用機会を創出
 - ☆Instagram や Facebook 等の SNS を利用して沿線の魅力を発信
 - ☆駅を発着点とし沿線を巡るウォーキングイベントを開催
 - ☆名鉄が販売するフリーきっぷと連動する誘客キャンペーンを実施
 - ☆愛知県と協働でエコモビリティライフの推進と鉄道利用を促進する PR の実施
- ・鉄道への乗換可能なパーク＆ライド駐車場、サイクル＆ライド駐輪場の整備と利用促進、バリアフリーの促進、レンタサイクルの実施等により、鉄道を利用しやすい環境を整備します。
 - ★西幡豆駅・東幡豆駅に駅待合を整備
 - ★こどもの国駅にトイレを整備
 - ★幡豆地区において電動キックボードの実証実験を実施
 - 福地駅にパーク＆ライド駐車場を運用
 - 西尾駅・吉良吉田駅・西幡豆駅・東幡豆駅において、レンタサイクルを運用
- ・新たな企業立地に対して最寄り駅とのバス等によるアクセスを強化するため、駅前広場の整備等を行います。
 - 上横須賀駅ロータリーの整備に向け、基本設計を実施
- ・地域の拠点としての駅の整備について検討します。
 - 上横須賀駅ロータリーの整備に向け、基本設計を実施【再掲】

- ・名鉄西尾線の発着便の増強や将来的な複線化などの名古屋駅や豊橋駅へのアクセス向上に向けた調査研究を進めます。

事業①－２－１ バス交通サービスの充実

- ・公共交通の機能別階層に基づいて、現行のバス運行経路・ダイヤ等を必要に応じて見直し、運行サービスの充実を図ります。
 - 一色地区における持続可能な公共交通の在り方についての協議を実施
 - コミュニティバスにおいてのりつぎ券発行器の運用を開始
- ・渡船とバスとの接続を強化し、渡船の利便性向上を図ります。
- ・鉄道駅や複数のバス路線が接続する交通結節点において、鉄道とバス、バス相互、鉄道・バスといこまいか一等の接続利便性の向上を図ります。
 - 名古屋鉄道のダイヤ改正に伴い、ふれんどバスのダイヤを改正
 - ☆名鉄東部交通バスのスクールバスで六万石くるりんバスへ乗車が可能
- ・市外のバスネットワークとの接続を強化し、市外への移動利便性の向上を図ります。

事業①－２－２ いこまいかのサービス充実

- ・西尾・一色地区では、自宅と小学校区内の拠点的なバス停等、吉良・幡豆地区では、地区内の駅・商業施設・医療施設等を目的地として、日常生活の移動手段を確保しています。
 - 一色地区における持続可能な公共交通の在り方についての協議を実施【再掲】
- ・目的地は、利用実態、市民ニーズ及び地区公共交通協議会での協議を踏まえて、西尾市地域公共交通活性化協議会での合意により見直し等を行います。

事業①－２－３ タクシーサービスの利便性向上・活性化

- ・ドア・ツー・ドアのタクシーの特性を活かして、交通手段の確保が困難な高齢者や障がい者等の移動支援や、観光での活用に取り組みます。
 - タクシーを活用した高齢者や障害者、妊婦等の移動支援を実施
- ・セダン車両による一般のタクシーを利用できない人の移動を確保するため、車いすのまま乗車できるなど、高齢者や障がい者等に配慮された誰もが使いやすいユニバーサル・デザインタクシーの導入を促進します。
 - ユニバーサルデザインタクシーの導入を補助（10万円/台、令和5年度実績： 台）
- ・愛知県タクシー協会、交通事業者、地方自治体等からなる西三河南部交通圏タクシー準特定地域協議会の策定する計画に基づき、タクシー事業の活性化に取り組みます。

事業①－３－１ 次世代交通システム等の導入に向けた取り組み

- ・市中心部や鉄道・バス端末交通への活用を視野に、自動運転などの新技術を活用した次世代交通システムの導入に向けて、国・県などと協力して調査・研究を行います。

●先進地視察（【自動運転】滋賀県野洲市・愛知県常滑市、【特定小型原付】埼玉県さいたま市）を実施

・環境への負荷の少ない次世代自動車等の普及促進を図ります。

○電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車を購入し、新車登録した方を対象に補助金を交付

・地域特性に合わせて、グリーンスローモビリティなどの新たな移動形態の導入について調査・研究します。

●佐久島において、グリーンスローモビリティの実証事業を実施

★幡豆地区において電動キックボードの実証実験を実施【再掲】

・移動のニーズに対応して、様々な移動手段をサービスとしてトータルに提供する MaaS への対応を進め、楽しく便利に移動できる環境を整備します。

○市内全バス路線の GTFS データを更新し、グーグルマップに掲載

○経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施

基本方針② 交流と活性化を推進

事業②－１－１ キャッシュレスの推進

・六万石くるりんバス、いっちゃんバスでは、現金等のほかに、スマホを使ってPayPay・LINEPayで支払いすることができ、また、障害者手帳アプリ（ミライロID）も利用できます。

○佐久島渡船においても障害者手帳アプリ（ミライロID）による割引を適用

☆名鉄東部交通バスのスクールパスで六万石くるりんバスへ乗車が可能【再掲】

・ふれんどバスは、交通系ICカードの利用が可能ですが、名鉄東部交通バスは利用できず、現金等のみです。

★名鉄東部交通バス全線で交通系ICカードの利用が可能

・このように事業主体によってキャッシュレスの有無、方法が異なっていることから、キャッシュレスの共通化など、より利用しやすいキャッシュレスの仕組みを推進します。

・スマホのアプリを活用した「共通一日券」や「企画切符」等の発行により観光客の利用促進を図ります。例えば、バス乗車券と商業施設等での割引などがセットになった電子切符などの導入を検討します。

事業②－１－２ 「見える化」の推進

・現在、六万石くるりんバスといっちゃんバスについては、バスロケーションシステムにより、バス車両の位置、バス車内の混雑状況をリアルタイムに確認できます。また、ふれんどバスについては、名鉄バスロケーションシステムで運行状況を確認できます。

・目的地までの検索については、スマホの地図アプリでも可能となっています。

○市内全バス路線の GTFS データを更新し、グーグルマップに掲載 【再掲】

○経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施【再掲】

- ・公共交通を利用しやすくなる「見える化」の拡大を推進します。
 - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂
 - 作成した公共交通マップを地図アプリケーション「Avenza Maps」へ反映
 - バスロケーションシステム、混雑状況配信システムによりリアルタイム情報を提供

事業②－２－１ 周遊観光の推進

- ・公共交通を使って市内の観光資源を周遊するネットワークの形成、その情報提供などにより、観光客が手軽に公共交通を利用できる環境を整備します。
 - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する「おでかけきっぷ」を実施【再掲】
 - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂【再掲】
 - ☆名鉄が販売するフリーきっぷと連動する誘客キャンペーンを実施【再掲】
- ・外国人観光客への対応についても実施します。
 - パンフレットやホームページの多言語対応を実施
- ・パンフレットの作成、スマホを使った目的地検索と公共交通チケットの入手など、利便性の高い仕組みを構築します。

事業②－２－２ まちづくりと連携した施策の実施

- ・鉄道やバスを活用した施策・イベント等を企画し実施します。
 - のりものカードを作成し、利用者へ配布
 - ★市制 70 周年を記念した企画列車のイベント（復刻塗装列車の運行、絵画コンクール・電車レストラン）を実施【再掲】
 - ★名鉄でんしゃまつり、地域 PR ショップに出展し沿線の魅力 PR と誘客推進キャンペーンを実施
 - ☆名鉄が販売するフリーきっぷと連動する誘客キャンペーンを実施【再掲】
 - 六万石くるりんバス車内モニターおよび車両側面に、地元企業等の広告を掲載
 - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する取り組みとして、「おでかけきっぷ」を実施【再掲】
- ・イベント等の機会をとらえて、公共交通機関の利用を働きかけます。
 - ☆愛知県と協働でエコモビリティライフの推進と鉄道利用を促進する PR の実施【再掲】
- ・地域のまちづくり活動との連携（地域のイベントでのバス活用、バス運行道路の清掃活動等）、小中高等学校のボランティア活動等との連携（生徒によるバス停のベンチ設置等）について関係者と協議し、協力して実施します。
 - ☆地元中学校・高校が実施する鉄道利用促進イベントへの協力

- ・施設等が保有する車両の有効活用、商業者等と連携したバス運行の実現可能性について検討します。

基本方針③ 持続可能な公共交通の確保

事業③－１－１ エコ通勤・通学の取り組みの実施

- ・事業所のエコ通勤の取り組みを支援します。エコ通勤に意欲のある事業所へのヒアリングなどを通して、実施のための課題などを把握し、エコ通勤を実施するための施策に西尾市と事業所が連携して取り組むための仕組みをつくります。
- ・エコ通勤を実施する事業所の拡大を図るため、事業所への時刻表の配布等による PR 活動を行います。
○市内商業施設において、エコ通勤を呼び掛けるキャンペーン活動を実施
- ・通学において、自家用車で送迎から公共交通利用への転換を促すとともに、高校生が社会人となったときにも公共交通を使っていただくため、学校への PR 等によりエコ通学を推進します。
☆高校別に公共交通を利用した通学方法案内や個別時刻表を掲載したパンフレットを作成し、エコ通学を推進

事業③－１－２ 情報提供

- ・公共交通のバス停・ダイヤの変更等に合わせて、路線、時刻表及び乗継情報等を掲載した総合的な公共交通時刻表を発行し、市民、駅や公共施設等へ配布します。
●市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂【再掲】
- ・バス停やダイヤの変更に合わせて、検索サイトへの情報提供を行います。
○民間路線も含めた市内全バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載【再掲】
○経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施【再掲】
- ・広報、ホームページ、SNS など多様な媒体を活用して公共交通の情報提供を行います。
○広報にしおや市ホームページ、外国人向け生活情報誌など多様な媒体を活用して、バスの乗り方や公共交通に関する情報を発信
○民生委員や地域包括支援センター等との連携により、高齢者等を対象としたバスの乗り方やいこまいかーの利用方法の講座を地域に出向き実施
○個人のお出かけに合わせたマイ時刻表作成サービスを実施
○バスロケーションシステム、混雑状況配信システムによりリアルタイム情報を提供【再掲】

事業③－２－１ 地区公共交通協議会の運営

- ・市内の地区ごとに住民参加による地区公共交通協議会を設置し、この協議会で地区内の公共交通ネットワーク、運行方法等について検討し、西尾市との協議により実行する体制を整えています。

資料 3

報告事項

●一色地区における持続可能な公共交通の在り方についての協議を実施【再掲】

- ・一色地区では地区内を巡回する「いっちゃんバス」を運行し、吉良・幡豆地区では、既存の公共交通との連携や交通事業者への影響等を配慮した上で「いこまいかー」の目的地の拡大を行っています。

●一色地区における持続可能な公共交通の在り方についての協議を実施【再掲】

- ・これらの地区では、利用者数等の目標の設定、PDCA サイクルに基づく評価、利用実態に応じたバスルート・バス停の変更及びいこまいかーの目的地の見直し等を行うため、地区公共交通協議会を継続して運営します。

その他事業

- 協議会を年4回程度開催するとともに、目標指標の達成状況、西尾市地域公共交通計画で実施する事業の進捗状況、最低維持基準の達成状況等を管理し、PDCA を実施